

子育てと教育・福祉の充実をめざします

神戸市会議員 (東灘区選出) **やの こうじ**

事務所：神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207
TEL/FAX 078-841-2255
✉ yano.koji2018@gmail.com
市会議員団ホームページ▶<https://kobe-miraisig.jp/>



編集・発行：こうべ未来 市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

令和6年【2月議会】予算特別委員会開催 日程(2月22日～3月13日)

先日の予算特別委員会にて、危機管理室、消防局、建設局、水道局に対して質疑を行いました。日頃から市民のみならずから届いた「多種多様な課題の解決」に向けて、機会ある度に本市に声をあげています。引き続き、みなさまのお声に寄り添いながら、安全・安心な神戸・東灘のまちをめざして、力を尽くしてまいります。



各局への質疑の様子

危機管理室・消防局への質疑 (2月29日)



答 弁 VR映像など最先端技術の防災教育ツールを活用し、より多くの小・中学校の授業に取り入れ、次世代を担う子どもたちの防災意識の向上に努めたい。

要 望 人命救助を行った住吉中学校の生徒さんが、3月に市教委から「よいおこないをした児童生徒の表彰」を受けることから、中学校での救命蘇生の取り組みを継続していただきたい。

1. 一時滞在施設の確保の推進について

質 問 休日の行き場のない帰宅困難者4万6,000人の全てを受け入れる一時滞在施設の確保に今後どのように取り組むのか。

答 弁 都心・三宮整備を踏まえ、一定のスペースを確保できる施設(現在建設中のアリーナや神戸市役所2号館)に呼びかけを行い、休日の一時滞在施設の確保を進める。

要 望 帰宅困難者支援システムや神戸市の公式LINEから、外国人の方への母国語による案内もお願いしたい。



2. 特殊詐欺被害対策について

質 問 特殊詐欺対策を一層強化していくために、自動録音機能付電話機の購入補助の来年度予算の具体的な取り組みの方向性は。

答 弁 家電量販店への周知強化と、県や県警と密接に連携し、より多くの方にこの制度を使っていただくような広報に努めたい。

要 望 人生の最終コーナーで決して辛い思いをさせないように、購入補助の周知を進めていただきたい。



自動録音機能付電話機の購入補助

3. 消防団の充実強化について

質 問 消防団の車両やポンプなどの老朽化した資機材など、ハード面の整備を、今後どのように進めていくのか。

答 弁 令和6年度は、消防団車両8台、小型動力ポンプ15台の更新、消防団の詰所や器具庫も3か所の整備をするなど、消防団が活動しやすい環境づくりに努めている。

要 望 地域訓練の時に、消防団員から「ポンプが動かない」と言われたことがあった。引き続き、古い車両に関しては、AT車、エアコン付の車両に順次更新を願いたい。



消防団車両の荷台の様子

4. 学校への防災教育の推進について

質 問 将来の地域防災を担う子どもたちに、防災意識を持ってもらうためには、学校と連携した防災教育が大切だと考えるが。

5. 救急需要対策、おくる電※や#7119※の利用促進について

※おくる電：「病院などに行きたいけれど、手立て(交通手段)に困っている」という方に、最寄のタクシー・介護タクシーを紹介するコールセンター

※#7119：いつでも相談を受け付ける救急相談ダイヤル【24時間年中無休】

質 問 救急車を真に必要な方のもとに届けるために、どのような対策を講じていくのか。

答 弁 軽症かつ緊急性の低い救急要請を減らし、救急予防広報が市民の行動変容につながるよう引き続き取り組んでいく。

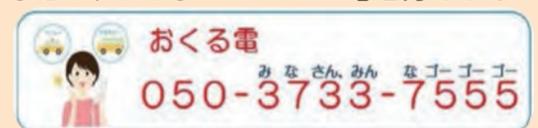
再質問 「おくる電」や「#7119」の普及促進について今後、どのように取り組むのか。

答 弁 新聞やテレビなどのメディアを通じた幅広い広報を行うとともに、特に高齢者への普及につながるように、医療機関、介護、福祉関係者、地域団体と協力し、認知度を高めていきたい。



救急車を利用する前に

要 望 高齢化社会で運転免許を返納され、自ら病院に行けなくなる方が増えてくる。「みなさん、みんなゴーゴー」と分かりやすい電話番号の「おくる電」をしっかり周知をしていく必要がある。



建設局への質疑 (3月5日)



1. 六甲アイランド公園、シティヒルの整備について

質 問 令和6年度予算で、六甲アイランド公園が拠点公園※の対象となっているが、具体的にどのような整備を考えているのか。

※拠点公園：地域のイベント利用など、まちづくりの核となる公園

答 弁 六甲アイランド公園の西側広場の遊具や、健康作り機能の増進というテーマで、整備計画を設計していきたい。

要 望 どんな公園にしてほしいか子どもたちに聞いてみると、「バスケットゴール」「雨がかわらない休憩場」「トイレと手洗い場」「ボールが南側の道路に出ないフェンス」などが欲しいと意見を頂戴した。この公園に限らず、今後公園を新たにリニューアルする際には、子どもたちの声もしっかり聞いていただきたい。

再質問 シティヒルについては、どのような整備を検討しているのか。

答 弁 既存施設の更新など、今後も安全で快適にランニングや散策、健康作りができる魅力的な施設作りに努めていきたい。



距離表示とスポット照明

要 望 都道府県別のランニングコース兵庫10選に選ばれていることを生かして、距離表示板を根本的に見直し、未舗装の部分に、雨の後でもランニングができるような部分舗装を導入するなど、利用者に喜んでいただける取り組みを引き続きお願いしたい。

2. 公園施設の改築更新について

質 問 公園・緑地の活性化に向けて、「～できる・したくなる公園」づくりとあるが、具体的にどのような取り組みを考えているのか。



下中島公園 (須磨区)

答 弁 地域のみなさまと一緒にローカルルールの見直しを進め、公園の活性化に努めていきたい。

再質問 子どもたちに最も身近な公園の遊具更新等は、インクルーシブ*の視点を持って取り組むべきでは。

*インクルーシブ：障がい者に限定しない全ての人を対象とし、様々な差異を全て包み込む考え方

答 弁 今後も公園の遊具を更新する際には、インクルーシブの視点も十分踏まえ、地域のニーズや利用状況などを見ながら整備を検討していきたい。

要 望 既に設置されている公園には、車いす利用者や乳幼児連れの人も安心して利用できるバリアフリートイレの整備を進めていただきたい。

3. 駐輪場施策について

質 問 「親子おでかけサポート制度」の具体的な内容は。



答 弁 中学生以下の親子連れの方々を対象に、土日祝の駐輪場の一時利用料金を無料化とする。のびのびパスポートプラスを活用し、手続きの簡素化もしていきたい。

要 望 チャイルドシート付自転車は幅広なので、止めやすいスペース確保の視点もお願いしたい。

水道局への質疑 (3月6日)

1. 料金改定に至った背景について

質 問 経営改善努力を尽くしてもなお、料金改定という結論に至った経営環境を取り巻く状況の変化について具体的に伺いたい。

答 弁 物価高騰による経費の増加、人口減少、節水型社会の進展による給水収益の減少で、何もしなければ令和7年度には、単年度収支が赤字になっていく。



要 望 令和7年2月からは、基本料金が開栓・閉栓時の日割り請求となる。転出入者にとって良い取り組みの周知を、しっかり行うことも大切だ。

2. 丁寧で分かりやすい広報について

質 問 料金改定についても、ターゲットごとに手法を変えた広報が必要と考えるが、どのような広報を考えているのか。



神戸市水道局

答 弁 市民説明会の開催や、若年層にはSNSを活用した広報、事業者にはダイレクトメールで情報発信を行うことを考えている。

要 望 今回の水道料金の値上げでも、子ども向けにも詳しく広報することで、水道に対する学びの深まりや、将来の水道人材の確保に繋がっていく可能性も期待される。

3. 施設更新費用を安価にする取組みについて

質 問 長寿命化を目標として施設の予防保全に取り組むことで、どの程度のコスト削減効果を見込んでいるのか。

答 弁 配水池の内面防水塗装で長寿命化を図った場合、作り替える費用に比べて4割程度のコスト縮減が期待できる。

要 望 減収の中、施設更新の時期を迎え、財源の確保が課題であるが、安心・安全で安価な水道の提供をお願いしたい。

安心・安全、より快適に



質疑の様子

1. 【六甲アイランド】ファッションプラザ「プロジェクションマッピング」が登場

昨年の予算特別委員会から
(令和5年2月27日)



プロジェクションマッピング (投影テスト時の様子)

質 問 ①リバーモールのライトアップについては、日展をイメージした赤色カラーでの演出であるが、プロジェクションマッピングなどのように、もっと動きのある魅力的な光の演出を工夫して、六甲アイランドの賑わい活性化につなげてはどうか。
②神戸ファッションプラザの活性化に向けて、今年こそ商業棟に新たなテナント誘致をと期待しているが見解を伺いたい。

局 長 ①より一層のナイトタイムを楽しむ仕掛けを充実させるため、5年度予算ではリバーモール周辺の公共施設で、やの委員ご指摘のプロジェクションマッピングも含めて、実施内容を検討している。
②大栄環境と一緒に、取り組みを積極的に行っているところである。何としてでも活性化に向けた動きは進めていきたい。

2. 【岡本南公園】さくら案内板の改修 (令和6年3月8日から供用開始)



3. 【住吉宮町】手すりの設置 (令和6年3月15日から供用開始)



きど 神戸市議員 木戸 さだかず 活動報告 2024.7



1974年生まれ

- 神戸大学卒業、京都工芸繊維大学大学院修了、淡路景観園芸学校修了
- 京都で植木職人として修行後、設計コンサル勤務。
国営明石海峡公園の基本設計や自治体の景観形成条例策定等に携わる。
- 兵庫県議会議員1期（2019～2023）
- 2023年4月より神戸市議員（神戸市須磨区）

裏面

国民健康保険料の県統一化
市民への影響は？

夏場は一年でもっとも救急車の出動が増える季節です!!

ためらわずに呼べる 救急体制 づくりに向けて

病院へ行く？救急車を呼ぶ？まよったら…

暑さ対策できてますか？

KOBEクールオアシス始まっています!

市内事業者にご協力いただき、冷房のきいた店舗を一時的な休息所として開放する取組みです。右のステッカーが目印です！（9月30日まで）



救急安心センターこうべ 24時間365日

7 1 1 9

“救急車呼んだら7,700円” 三重県松阪市

「市内基幹病院に救急車で運ばれても入院に至らなかった場合は7,700円を支払う」そんな衝撃的な取り組みが三重県松阪市で本年6月1日から始まり、注目を集めています。

「呼びたくても、ためらってしまうかもしれない」「結果として大したことなければ、払うのも仕方ない」

賛否さまざまな意見が出ていますが、背景には救急出動の増加による逼迫した現場の状況がありました。

今、全国的に過去最多を更新する救急車の出動要請があり、この影響で、119番通報を受けてから救急車が現場に到着するまでの平均時間はついに10.3分になりました。

心臓の疾患が原因で心停止した際に、救命処置をとらないまま10分を超えると生存が極めて難しくなるとされていることから、



救急車をめぐる現場は危機を迎えています。

神戸の救急体制は大丈夫？

一方で、神戸市はどうか？有料化の話は出ていませんが、神戸市も令和5年度に救急車の出動要請は過去最多を記録しています。

高齢化とともに救急出動件数も増え続けていますが、同時に搬送の必要がないケースも増えており、ここをいかに抑えていくかで救急の逼迫状況は変わってきます。

神戸市の救急	(2015年)	(2022年)
人口	154.9万人	150.3万人
救急出動件数(過去最多)	7.8万件	9.7万件
出動件数の増加率		1.25倍
75歳以上の人口増加率		1.29倍
75歳以上の救急搬送割合	42.2%	48.9%
搬送者のうち中等症以上	41.8%	47.3%
救急車の現場到着時間	8.7分	10.0分
搬送の必要なし	17.1%	19.1%

ここが課題!

ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください！ 神戸市議員 木戸さだかず tel. 070-7645-4168

救急体制の維持に向けて

救急体制の維持に向けては、神戸市では夏場の救急需要の増加に備えて「臨時救急隊」の編成など体制を整えています。

ですが、やはり私たち市民が救急車の適正な利用に向けて取組むことが何よりも大切に

なってきます。

救急車を呼ぶか迷う時は、まずは「安心救急センター#7119」に相談してください。

暑さ厳しい季節が続きますが皆様どうかご自愛ください。これからも命を守るために、救急体制の維持強化に向けて私もできることをしっかり取組んでいきます。

わたしたち神戸市民への影響は？

12 国民健康保険料が県で統一化されます

市町で異なる保険料

国民健康保険（以下、国保）は、住んでいる市町により保険料が異なることはご存じでしょうか？

この差は全国を見ると最大3倍以上、県内でも約1.5倍となっており、比較すると神戸市の国保料は総じて高いことがわかります。

神戸市の国保料は高い！

政令市で**4位**、兵庫県内で**2位**
(全20都市) (全41市町)

※国保加入者のうち一番多い層で計算【所得43万円以下の単身世帯】

神戸市民にメリットあり

今、この国保料を都道府県で統一化しようという動きが始まっています。

取り組みの一環として、神戸市会では本年5月議会に「神戸市国民健康保険条例及び神戸市国民健康保険財政安定化基金条例の一部を改正する条例」が上程されました。

国保が県で統一化されると保険料は平準化されますので、他の市町より高い保険料を支払っている**神戸市民にとっては保険料を抑制できる**ということになりますので、私も条例改正に賛成しました。

一方で、メリットを受けない方も存在します。現在、神戸市では障がい者・ひとり親・寡婦に独自の所得控除制度を設け、高い保険料を減免しています。この制度により独自控除を受ける世帯の国保料は県内23位と平均的な保険料となっています。

統一後、この制度は廃止となるため、**独自控除を受ける世帯ではメリットもデメリットもほぼない**ということになります。

会社員の方も定年後は国保に加入することになります。ほとんどの方が一度は加入する保険、それが国民健康保険です。

現在、右肩上がりの保険料ですが、公平な負担、納得のいく保険制度をいかにつくるかは政治の責任です。

大きな方向性を決めるのは国会となりますが、私もしっかりと声をあげていきたいと思っています。



市民1人当たりの必要保険料額
【国民健康保険/神戸市(予算ベース)】

ご意見、ご相談、お気軽にご連絡ください！

神戸市会議員 木戸さだかず

お名前

お電話番号

〒654-0142

須磨区友が丘1丁目109

電話：070(7645)4168

メール：s-kido@jcom.zaq.ne.jp

ご意見

子育てと教育・福祉の充実をめざします

市会報告

神戸市会議員
(東灘区選出)

やの こうじ

編集・発行：こうべ未来 市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
TEL：078-322-5844
FAX：078-322-6161



神戸市会議員となり6年目を迎えました。本市の制度や地域のお困りごとなど、みなさまからの様々なお声に対し、迅速かつ丁寧に対応できるように努めているところです。

引き続き、小さなお声もしっかりと聴かせていただき、課題解決に結びつくように、「初心忘れず」努めてまいります。



質疑の様子
(予算特別委員会)

今年度の主な役職

常任委員会・・・福祉環境委員会

(高齢者、地域医療、保健所、環境などに関すること)

特別委員会・・・外郭団体に関する特別委員会

(外郭団体の審査などに関すること)

こうべ未来市会議員団・・・副政務調査会長



六甲アイランド プロジェクションマッピングが実現に

昨年2月の予算特別委員会にて、「もっと動きのある魅力的な光の演出を工夫して、六甲アイランドの賑わい活性化につなげてはどうか」と提案。1年2か月を経て、神戸ファッションプラザの外壁にて投影が実現に。6月28日からは、新たに夏のコンテンツが投影中です。(詳細はQRコードにて)



プロジェクションマッピング

第30回神戸ルミナリエが1月開催に



代表質疑の様子



今年の2月議会 本会議の代表質疑にて「閑散期となる1月の神戸の夜のまちの経済活性化に寄与した神戸ルミナリエを、引き続き1月開催で進めるべきではないか」と要望。その後、ルミナリエ組織委員会での議論を経て、今回は、来年1月24日から2月2日の開催に決まりました。



郵便はがき



料金別納郵便

教育
子育て
福祉改革

子育てと教育・福祉の充実をめざします

神戸市会議員(東灘区選出)

やの こうじ

市政のご相談・問い合わせ先

〒658-0054 神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207

TEL 080-6111-9971

✉ yano.koji2018@gmail.com

OPEN神戸～市民に開かれた市政～

神戸市議員 中央区

よこはた和幸 かずゆき

編集・発行 こうべ未来市議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

こうべ未来市議員団
NEWS No.20

よこはた和幸事務所：〒650-0012 神戸市中央区北長狭通 4-1-12-8 階 TEL:078-335-0661 FAX:078-335-0662

「こうべ未来市議員団」 結成から1年を経過してのご報告！

昨年、政党党派に拘らずオール神戸で神戸を盛り上げる為、また幅広い意見を頂きたい視点から新会派「こうべ未来市議員団」を結成いたしました。

建設的な提案をすること、未来視点を持つことなどを心がけてきました。達成できた分野もありましたが、壁や課題も多くありました。1年間を経過して提案の抜粋をご報告いたしたいと存じます。まだまだ足りない部分も多くありますので皆様のお声など是非ともいただければ幸いです。



委員会にて質疑

数々の政策提言を行って参りました！皆さまの声を神戸の発展に！

経済産業 神戸夜市の常設化を含めて 夜型観光を強くする

神戸観光の課題は、京都や大阪に比べて1人あたりの滞在消費金額が少ないことです。宿泊していただくことで宿泊費や夜ご飯など消費金額が多くなります。夜型観光を強化するため、「神戸夜市」の提案をしてきました。メリケンパークを中心に単発的には夜市が開催されています。毎日神戸のどこかで夜市が楽しめる常設化を提案したいと考えます。



福祉環境 ペットの殺処分をゼロにする こうべ動物共生センターの更なる活用

今やペットは家族の一員ですが、残念ながら殺処分は減ってはいるもののゼロではありません。2021年に開設したこうべ動物共生センターでは譲渡会の開催やペットとの共生に向けた多くの事業が行われています。また、アニマルセラピー事業は、ペットを飼っている方も、飼っていない方も興味を持ってもらえる新しいプログラムです。同センターを強化してペットと最後まで寄り添うような礎を作って参ります。



経済産業 神戸でのロケ誘致数を 日本一にする

映画やドラマ、CMなどを神戸に誘致することは、神戸の宣伝効果やスタッフが滞在することなど経済効果は高いと考えます。昨年度は、映画が8本、テレビ12本、CM等125本となっています。経済効果は4億2,600万円程度を計上しています。ドラマ「たとえばあなたを忘れても」映画「帰ってきたあぶない刑事」などが有名です。撮影と言えば神戸と言われるように、補助金や許可関係の簡略化など提案しています。NHKドラマ「風見鶏」のような目玉となるロケの誘致をさらに進め、楠木正成さんを題材とするドラマの誘致も提案しています。



福祉環境 おひとりさま対策を パッケージ化する

超高齢化の進展などから65歳以上の独居世帯が右肩上がりです。頼れる身寄りがない方にとっては様々な不安があります。病院の通院、買い物支援や入院の際の保証人の問題、自身の葬儀や納骨先など様々な不安があります。今年度予算では、エンディング・サポート事業として、生前の葬儀・納骨予約の手続きを市が支援する仕組みを作りました。相談を御希望の方は下記窓口にお問い合わせください。

さらに増加する独居高齢者世帯へのきめ細かいサービスを一本化した行政サービスを整えて参ります。

相談窓口 **078-322-5086** 神戸市健康局 斎園管理課内
平日9時～12時、13時～17時

学校教育 いじめ・不登校対策を強化する 少人数学級の実現が必要

先生が生徒そのものに向かい合う時間を増やすためにも少人数学級が必要です。神戸はある程度進んでいますが欧米並みの少人数は大事と考えています。

いじめに関しては、24時間つながるフリーダイヤルを設置しています。弁護士による相談です。SNSを活用した相談をしている兵庫県教育委員会へのつなぎなど行っています。複雑化しているいじめに関しては学校だけでなく家庭・地域・警察などが一体化をせねばなりません。

不登校については、スクールカウンセラーによる電話相談やオンライン相談を実施しています。校内サポートルームの整備や支援員を配置しています。相談を受ける方々の確保も急務です。

多くの児童生徒がお世話になっている民間のフリースクールへの支援や連携も必要と考えます。



いじめ・体罰・
子ども安全ホットライン **0120-155-783**

不登校支援
相談センター **078-366-0123**

学校教育 こどもの体力を向上する 子ども達に夢と希望を！

毎年、全国体力調査をしており、神戸では、小学校女子、中学校男女とも全国平均を下回っています。調査では運動やスポーツ、体育への意欲は高く、運動する機会を伴うことが大事だと考えます。

神戸にはヴィッセル神戸や神戸スティーラーズ、オリックス野球クラブ、INACや神戸ストークス、久光スプリングスなどプロスポーツの拠点があります。選手を学校や地域に派遣して、スポーツに対するきっかけ作りをし、子ども達に夢と希望を与えられると感じています。



医療健康 がん検診率を上げて（目標60%） 経済負担を減らしたい

神戸市での5大がん（胃、肺、大腸、乳、子宮）の検診率は全国的に低い状況です。早期発見早期治療が有効ですがうまくいっていません。例えば、胃は43%（全国48%）、肺は44%（49%）です。特定検診とがん検診をセットで行ったり、WEBなど簡略化の努力していますが、検診率は伸びていません。地道な検診受診のPRをせねばなりません。著名人やインフルエンサーなどSNSを活用したのも必要と感じています。

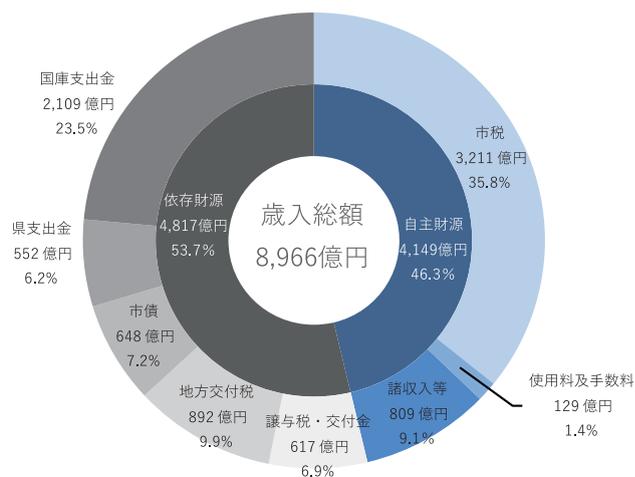
また、社会復帰後対策としてウイッグや人口乳房助成はさらに必要と感じています。検診率のアップと経済負担の軽減をさらに進めて参ります。

令和5年度決算の概要

9月14日から決算議会が始まっています。予算議会で決定した予算状況をしっかり確認をして参ります。さらに予算的に必要な事業や、削減すべき事業を厳しく追及して参りたく存じます。

一般会計において、歳入8,966億円、歳出8,850億円となり前年比で70億円のプラスになっています。個人市民税や法人市民税の増加となっています。ウォーターフロントの再整備や三宮再整備、高校生の通学補助など大型の投資がありましたが、財政の健全化を示すプライマリーバランスの黒字も444億円となり安定期に入ったと感じています。神戸の強みである港や空港を活かして企業誘致をさらに加速させていきたいと感じています。また、教育や福祉など人への投資もバランスよく進めていきたいと感じています。

【歳入決算の状況】



(参考) 款別歳入決算の構成比

【歳出決算の状況】

(単位：億円・%)

区分	令和5年度		令和4年度		増△減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	伸率
義務的経費	5,126	57.9	5,127	55.0	△1	△0.0
人件費	1,780	20.1	1,852	19.8	△72	△3.9
扶助費	2,369	26.8	2,290	24.6	+79	+3.5
公債費	976	11.0	985	10.6	△9	△0.8
投資的経費	784	8.9	928	10.0	△144	△15.5
繰出金	912	10.3	882	9.5	+30	+3.4
貸付金	68	0.8	49	0.5	+19	+39.5
積立金	153	1.7	249	2.7	△96	△38.4
物件費等	1,808	20.4	2,083	22.3	△275	△13.2
合計	8,850	100.0	9,317	100.0	△467	△5.0

子育てと教育・福祉の充実をめざします

神戸市議員
(東灘区選出)

やのこうじ

事務所：神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207
TEL / FAX 078-841-2255
✉ yano.koji2018@gmail.com
市議員団ホームページ▶ <https://kobe-miraisig.jp/>市議員団
ホームページ

編集・発行：こうべ未来 市議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

令和6年 第2回定例市会【9月議会】開催 日程（9月13日～10月24日）

神戸市会では、令和6年度の神戸市各会計決算や議案について、審議を行っています。
先日の本会議で会派の代表質疑を務め、市長、教育長に対し、以下の内容について質疑を行いました。
今回の質疑内容の早期実現に向けて、みなさまからのお声にも常に寄り添いながら、安全・安心なまち神戸・東灘をめざして、全力でとりくんでまいります。



質疑の様子



代表質疑（9月24日）

1. 敬老・福祉パスの民間バスへの適用について

質問 依然として東灘区の住吉台を走る「くるくるバス」や、森北町を走る「どんぐりバス」など割引適用の対象となっていない。住民の足である民間バスにおいても、敬老・福祉パスの制度適用がなされるべきではないか。

副市長 交通事業者の理解と協力なくしては成り立たない制度である。対象交通機関の拡大に向け、引き続き交通事業者と協議をしていきたい。

要望 くるくる・どんぐりバス、坂バス（灘区）、みんなのバス（兵庫区）などに、早急な制度適用をお願いしたい。



敬老パス



福祉パス

再質問 昨今の物価高騰など、運行事業者のこれまで以上に厳しい状況を踏まえると、地域交通に貢献している「くるくるバス」や「どんぐりバス」等の民間バスを神戸市が支えるという観点から、敬老・福祉パスの予算を拡充、もしくは別枠で予算を確保すべきではないか。

副市長 今後、敬老パスの対象者である高齢者は増加し、社会保障費の増加等への対応などを踏まえつつ、運賃改定後の利用状況等も把握しながら対応を検討していきたい。

要望 横浜市の調査では、敬老パスの所持者は外出頻度が高く、介護認定を受ける割合も少なく、介護予防などにもつながるとしている。本市でも実現に向けた予算確保をしていただきたい。

2. 高校生等通学定期券の補助制度の対象について

質問 東灘区在住の生徒が芦屋の高校へ出願することは、県立高校の通学区域の制度上、認められている。今後、兵庫県第1学区である市外の高校へ通学する生徒に対しても通学定期の無料化の対象とする意向があるのか。

市長 今後県での検討状況、神戸市の制度の拡充による市内高校受験者数の動向など、神戸市内の教育環境への影響や効果を把握しながら、令和7年度当初予算編成の中で検討したい。

高校生通学定期券の
補助制度

要望 高校生等通学定期の無料化は、対象学校を高等学校、高等専門学校、中等教育学校、専修学校及び外国人学校としている。そのため、様々な理由により不登校となり、フリースクール等に通学している生徒は補助の対象外となっている。

神戸市として未来を担うことになる人材を分け隔てなく支援するため、フリースクール等に通学している生徒の通学定期についても是非、無料化の対象としていただきたい。



3. 部活動の地域移行について

質問 神戸が進める「KOBE◆KATSU (コベカツ)」が目指す理想の姿と、そこに向かう途中段階での現状課題は。



教育長 多様なニーズに応え、少しでも子どもたちがわくわくするような活動にしていきたい。校区を越えた活動場所への移動や、月会費等の家庭負担、活動団体が確保できるのかという大きな課題は抱えているが、できるだけ多くの団体に参加いただけるよう、活動の団体の掘り起こしに努めたい。



[KOBE◆KATSU] (コベカツ)

意見 今後10年間で1万人の生徒が減少 (中学校25校分) し、教員数も減少する。部活の練習試合の引率の際、会場への交通費は教員の自腹であり、その際に起こるトラブルには責任が発生し、最悪なケースでは、部活動の顧問が懲戒処分の対象ともなりかねない。日々奮闘している教員の自己負担は限界を迎えている。

再質問 中学生の活動・体験・交流の機会の確保に向け、社会全体で取り組む必要がある。そこで、文化スポーツ局等の関係市長部局と教育委員会とが共同で「KOBE◆KATSU」の事務局を設けるなど、両者がともに移行準備を積極的に進めていくべきではないか。

市長 文化スポーツ局や地域協働局などが中心となり、今までの先生方に変わる指導人材をどう確保していくのか、しっかりと一緒に取り組んでいきたい。



質疑の様子

要望 今後の部活動の「KOBE◆KATSU」への移行後、各クラブの運営に必要な費用は、原則として各家庭の会費で負担することになる。一方、クラブの所属人数が少ない場合、運営費用を会費だけで賄うことは困難であり、また種目によっては用具を調達するための高額な初期費用を要する場合もある。これらの結果、各家庭の会費が高額となり、KOBE◆KATSUへの参画の妨げとなってしまうことだけは、絶対にあってはならない。中学生の誰もが自らのやりたいことを選択し活動できるよう格別の配慮をしていただきたい。

4. トライやる・ウィーク※について

質問 教員の負担軽減のため、トライやる・ウィーク推進協議会を中心に、生徒の受け入れが可能な事業所の検索から受け入れ依頼まで、一貫して調整できるシステムの構築が早急に必要ではないか。

※トライやる・ウィーク…兵庫県内の各市町において、中学2年生を対象にした5日間の職場体験活動

教育長 教職員の負担軽減の観点も十分に踏まえながら、持続可能で時代に合った効果的な取り組みになるよう、兵庫県とも協議しながら検討していきたい。

要望 机上の学習だけでなく実際に職場体験することは大変貴重である。市内には担い手となる地域団体が少ない地域もある。地域協働局等による学校への支援をお願いしたい。

子育てと教育・福祉の充実をめざします

神戸市会議員 (東灘区選出)

やの こうじ

事務所：神戸市東灘区御影中町 2-8-3-207
TEL/FAX 078-841-2255
✉ yano.koji2018@gmail.com
市会議員団ホームページ▶https://kobe-miraisig.jp/

市会議員団 ホームページ

編集・発行：こうべ未来 市会議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 / TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161

令和6年【第2回定例市会】決算特別委員会 日程(9月25日～10月11日)

先日の決算特別委員会にて、環境局、福祉局、健康局に対し質疑を行いました。市民のみならずから届く様々な「各種お問い合わせ」の早急な解決に向けて、継続して本市に声をあげています。引き続き、小さなお声にも寄り添いながら、安心・安全な神戸・東灘のまちをめざして、全力で取り組んでまいります。



質疑の様子

環境局への質疑 (9月25日)



質疑の様子

1. クリーンステーションの管理 (1)カラス対策について

質疑 カラスネットの配布に加えて、折り畳み式ネットボックスの試行的設置が進められているが、カラス対策を今後も重点的な取組みとして進めるべきでは。

答弁 他都市の取組も研究しながら効果的な対策を検討し、ごみ出しルールの啓発も粘り強く行っていきたい。

要望 カラスの件、外国人のごみ出しルールも合わせて、区民から多くの相談を受けている。しっかりと声を聴いて、改善につなげていただきたい。

2. クリーンステーションの管理 (2)外国人のごみ出しルールについて

質疑 外国人住民に対するごみ出しルールの啓発に向けて、外国語の看板設置を個別対応ではなく全市的に推進すべきでは。

答弁 今後も個別のステーションの相談にもしっかりと応じながら、より伝わりやすい、また理解しやすい内容・方法等を研究し啓発に努めていきたい。



夜間のごみ出しの様子

要望 私が利用するごみステーションでも、収集日の前夜にごみが捨てられている。ごみ袋に6種類の言語記載があるように、現状の看板にも多国語対応を、早急に取り入れるように強く要望する。

3. 食品ロス問題 (1)フードドライブについて

質疑 未実施のスーパーや他業種店舗、公共的な施設を含め、今後のフードドライブの拡大展開については。

答弁 今春に立ち上げられた「こども地域応援ネットワークKOBE」とも連携をしながら、より効果的に事業を展開していきたい。



こども地域応援ネットワークKOBE



フードドライブ回収ボックス



フードドライブ

要望 食品が真に必要としているところに届くことは大切な観点である。食品の回収場所の増設をがんばっていただきたい。

4. 食品ロス問題 (2)てまえどりについて

質疑 「てまえどり」の店舗数の拡大とともに、来店者の目に留まりやすい啓発を工夫すべきでは。



てまえどり



答弁 ホームページやイベントでの周知啓発、ステッカーの配布やポスター掲示、音声案内での周知啓発を行ってきたい。

意見 環境学習の一環として、てまえどりのマンガ等を広報こうべで取り上げることも検討してはどうか。

5. 喫煙所の整備について

質疑 主要な駅前の再整備に合わせ、路上喫煙禁止地区に限らず喫煙所を整備すべきでは。



答弁 都心・再整備事業と併せて、新たに建設されるビル内へ喫煙スペースを確保する働きかけを行っている。

要望 ご家族との外出や買物の際に、愛煙家の方が安心して一服できる喫煙所の開設を、民間事業者の協力を得ながら進められたい。

福祉局への質疑 (9月27日)

1. 食支援:民間団体への運営支援について

質疑 食支援を通じた生活相談を実施する民間団体に対して、さらに運営支援を強化すべきでは。

答弁 悩みや好事例を共有する意見交換会の開催等を通じて、引き続き支援団体への伴走型の支援を続けていきたい。

要望 物資が滞って廃棄に至らぬよう、水道のように隔々まで行き渡る支援をお願いしたい。



地域団体による支援

2. こども・若者ケアラー：民間事業者との更なる連携について

質疑 こども・若者ケアラーの支援は、行政の取組みだけでは限界もあり、協力を得られる民間事業者を積極的に開拓し、支援を充実させていくべきでは。



こども・若者ケアラー

答弁 今後もあらゆる機会を通じて、積極的に民間企業と連携し、支援の充実を図っていききたい。

要望 多くの支援の選択肢があるほうが、こども・若者ケアラーにも有難い。開拓の推進を引き続きお願いしたい。

3. 市有地を活用した障害者向けグループホームの整備：公募の進捗状況について

質疑 グループホームが地域と共存していけるように、市がより積極的に周辺住民へ丁寧な説明を行うよう、今年2月の本会議で求めたが、その後の進捗は。



答弁 市営魚崎新堀住宅跡地を整備用地として、現在、公募に向けた準備を進めている。5月下旬に説明会を2回開催し、グループホームの現状や整備する目的・内容等を説明した。

意見 今回の事例を踏まえ、グループホームの整備が進まない地域については、今後も積極的に市有地の活用を検討すべきである。

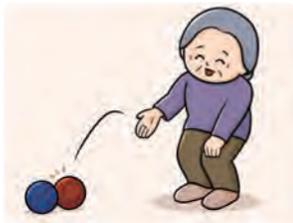
4. つどいの場の拡充について

質疑 東灘区の渦森会館では、ボッチャなど無料で老人が集えるイベントを実施している。交流を介して利用者の健康づくり・社会参加につながる場を拡充していくべきでは。



つどいの場

答弁 健康づくりだけでなく、人と人の交流を通じて、見守り、支え合う機能を地域に広げていくことを今後も継続していききたい。



要望 みなさんと集いたい気持ちはあっても、会場へ行けない方への移動手段も検討いただきたい。

健康局への質疑 (10月4日)



質疑の様子

1. 来年度からの小学校でのフッ化物洗口の全校展開について

保護者等への周知方法

質疑 フッ化物洗口の希望申込みの際に、保護者への説明をどのように実施するのか。



フッ化物洗口

答弁 教育委員会とも十分に調整した上で、健康局が主体となって、全校で説明会を開催していききたい。

要望 子どもたちや保護者が、納得して判断できる全校展開に繋げていただきたい。

2. こうべ食フレ!サイトの活用について

質疑 老若男女が活用できるサイトであるが、PRはしっかりできているのか。



こうべ食フレ!

答弁 自分の体や食生活に関心を持つきっかけの一つとして、より多くの方々にサイトの周知をしていきたい。



あなたの性格タイプは

要望 あなたの性格タイプも診断できる「神戸名物グルメ診断」など、サイトの周知を頑張ってください。

3. ペットとの同行避難について

質疑 ペットを飼っている方もペットも、ともに安心して避難所で生活できる仕組み作りが必要ではないか。



ペットの防災対策

答弁 災害時のペットとのガイドラインを実効性のあるものにし、安心して避難行動がとれるようにしていきたい。

意見 災害時にペットがいるために避難所に行けなかったり、車中泊を選んだりするケースが増えている。避難していれば守られた命を失うことを一番懸念している。

4. 能登半島への災害派遣支援について

質疑 阪神淡路大震災を経験した本市として、被災地に寄り沿った末永い支援を続けるべきではないか。

答弁 被災地の復興状況や先日発生した能登半島豪雨の状況も確認しながら、保健師の派遣を検討したい。

要望 輪島市や珠洲市など、職員が少ない地域で大地震が起これば、初動対応や対策の提案が困難である。神戸市としてできることはしっかりとやっていただきたい。

安心・安全、より快適に【六甲アイランド】

1. ファッションマート「市内3か所目のコワーキングスペース」が来年2月開設に



あすてっぷコワーキング 六甲アイランド

議場での質疑から (令和4年10月11日)

質疑 保育機能のある利便性の高いコワーキングスペース※を、各区に設置するなど、拡充をさらに図るべきでは。六甲アイランドから中央区にあるコワーキングスペースまでは交通費もかかり、遠くて諦めてしまう可能性からも増設をお願いしたい。

※コワーキングスペース…基本設備を共有しながら仕事をする場所

2. 真っ暗だった交差点に街頭を設置 (令和6年5月から供用開始)

3. ファッションプラザ東側の南北歩道の改修 (令和6年9月に工事完了)



2. 六甲アイランド運動公園の北東交差点



3. 歩道の改修